

新しい時代を切り拓き豊かな心を育む学びのまちづくり

鈴木功教育委員長が2月24日、第21回市議会定例会で述べた教育行政施策の概要をお知らせします。



鈴木功教育委員長

第21回市議会定例会の開会にあたり、平成21年度の教育行政施策について申し上げます。

今日の社会の現状は、高度情報化、グローバル化、少子高齢化による人口構造の急激な変化など、社会経済環境が大きく変化してきております。

教育の分野におきましては、価値観や生活様式の変化などにより、ニーズが多様化する中で、市民一人一人が自分のライフスタイルにあわせて、生涯にわたって「学び」に主体的に参画し個性や能力を発揮することができ環境づくりが求められております。

一関市が掲げる教育立市の実現のためには、「新しい時代を切り拓き豊かな心を育む学びのま

ちづくり」を教育振興の基本目標と定めた教育振興基本計画の着実な推進が要諦であり、本計画に沿った生涯学習、学校教育、社会教育、文化芸術、生涯スポーツの各般にわたる教育行政施策に取り組みでまいります。以下、その具体について申し上げます。

人生を豊かにする生涯学習の推進

一つ目に「人生を豊かにする生涯学習の推進」について申し上げます。

一関に住み暮らす誰もが、人と人のつながりで構成される社会の一員として、自覚と責任を持ちながら、生涯を通じ学び自己実現できることが求められており、そのための環境を整えることが必要であります。

従いまして、家庭教育・学校教育・社会教育のそれぞれの領域で、その役割と機能を明確にしながら連携を深め、市民の学び心の喚起・啓発・高揚、そして支

援、さらには学びの場の条件整備に意を配し、市民の生涯にわたる学習環境づくりに努めてまいります。

また、児童生徒の減少による学校の小規模化と、近い将来高い確率で起きることが予想される大規模地震に対応する教育環境づくりは当市の喫緊の課題でありますことから、校舎等の安全確保と合わせ、学校規模の適正化に向け、市民理解を得る取り組みを進めてまいります。

さらには、ことばの力いわゆる言語力に着目し、20年度から「ことばを大切に教育」に取り組んでおりますが、「ことばの力」の育成を着実に推進することにより、学びのまちづくりの形成を目指してまいります。

新しい時代に生きる力を育む学校教育の推進

二つ目に「新しい時代に生きる力を育む学校教育の推進」について申し上げます。

東山地域交流センターの9月下旬の供用開始に向けた取り組みを進めてまいります。また、旧弥栄中学校校舎の耐震診断を実施し、老朽化した弥栄公民館の代替施設としての活用について検討してまいります。

健康の森セミナーハウス・まつるベスノールランドにつきましては、観光振興のための重点計画（アクションプラン）と整合を図りながら、早期復旧・再開に向け取り組んでまいります。

図書館につきましては、大東図書館のバリアフリー化工事を実施するとともに、新しい東山図書館の開館に向け取り組みを進めてまいります。また、一関図書館は磐井川の堤防改修に伴う一ノ関駅周辺整備の基本計画と合わせ検討してまいります。

多様で個性ある文化の創造

四つ目に、「多様で個性ある文化の創造」について申し上げます。文化芸術の振興につきましては、20回を迎える東日本合唱祭やいちのせき第九演奏会など市民の自主的な文化芸術活動を支援

学校教育につきましては、「確かな学力と豊かな心」を育てる教育を目標として進めてまいります。

確かな学力の向上につきましては、指導主事や学習指導専門員による教師への指導・支援の充実、学びの支援員の配置による児童生徒の発達に応じたきめ細かな学習指導を進めるほか、ことばを大切に育てる子どもの育成、外国語指導助手の増員による「小学校外国語活動」の充実に向けてまいります。

豊かな心をはぐくむ教育につきましては、生徒がさまざまな体験を通して人格の形成に資するように、市内全中学2年生を対象にした長期社会体験学習を継続して実施するほか、学校図書蔵書冊数の一層の充実を図り、児童生徒が読書に慣れ親しむ環境の充実に努めてまいります。

また、教育相談員による学校不適応等に対する教育相談、特別支援コーディネーターおよび

するとともに、伝統的、歴史的な文化財や郷土芸能の保護・保存・継承・活用に努めてまいります。骨寺村荘園遺跡につきましては、遺跡の価値評価を正しく後世に伝えることができるよう、伝統的村景観の調査研究を進めてまいります。また、平泉文化の世界遺産登録につきましては、市民による世界遺産登録祈念の音楽劇東京公演を支援し、全国に情報発信するとともに、国、県並びに関係市町との連携をさらに深め、登録への取り組みを進めてまいります。

一関文化センターの管理運営につきましては、引き続き指定管理者との一層の連携を図り、優れた舞台芸術鑑賞機会の提供に努めてまいります。

また、一関市博物館では「時の太鼓と城下町」、「(仮称)没後20年 色川武大・阿佐田哲也の世界展」、「東磐井の画家たち」などを、芦東山記念館では「もうひとりの東山」、「石と賢治のミュージアム」では「賢治作品文学講座・鉱物からのことば」などを企画・開催してまいります。

地域に根ざした生涯スポーツの推進

五つ目に「地域に根ざした生涯スポーツの推進」について申

申し上げます。

生涯スポーツにつきましては、社団法人一関市体育協会やスポーツ指導員等と相互に連携を図り、中高年を対象としての生活習慣病に対応したスポーツ・健康教室の開催など、市民の健康づくりと地域に根ざした生涯スポーツの振興に努めてまいります。

社会体育施設につきましては、花泉体育館の改修工事など各施設の維持管理の充実とともに、公共施設予約システムの周知を図るなど、利便性の向上に努めてまいります。

また、平成23年度に全国高等学校総合体育大会(インターハイ)の東北3県での合同開催が決定し、当市が体操競技の開催地となりますことから、円滑な大会運営を図るための組織づくりを進めてまいります。

以上、新年度の教育行政施策の概要を申し上げますが、関係団体等との連携を図りながら、生涯にわたる市民の学習活動を促進し、「新しい時代を切り拓き豊かな心を育む学びのまちづくり」に尽力してまいります。所存でありますので、皆様方のご理解ご支援、ご指導を心からお願ひ申し上げます。



3年に1度催されているいちのせき第九演奏会



おいしそうに給食を食べる田河津小児童